

報道関係各位

2019年 6月 6日

国立大学法人 東京医科歯科大学

「東京医科歯科大学と三井物産株式会社が歯科分野における連携協定を締結」
—AI を活用した歯科分野の診断・治療を支援するシステムの開発—



左から東京医科歯科大学 若林歯学部附属病院院長、渡辺理事・副学長 三井物産 加藤本部長、中原部長

【ポイント】

- 東京医科歯科大学と三井物産株式会社との間でオープンイノベーション組織間協定を締結しました。
- 「TMDU オープンイノベーション制度」における歯科分野では初の連携となります。
- AI を活用した歯科分野の診断・治療を支援するシステムの開発及びその社会実装を通じて、医療の高度化、豊かな社会の実現を目指します。

国立大学法人東京医科歯科大学（学長：吉澤 靖之／以下、東京医科歯科大学）と三井物産株式会社（代表取締役社長：安永 竜夫／以下、三井物産）は、2019年2月6日付けで「オープンイノベーション組織間協定書」を締結し、本年度よりAI（人工知能）を活用した歯科分野の診断・治療支援システムの社会実装を目的とした共同研究を開始致しました。今回の東京医科歯科大学と三井物産との連携は、東京医科歯科大学が2018年度にスター

トさせた産学連携プログラムである「TMDU オープンイノベーション制度」に基づいており、歯科分野では初の連携となります。

AI 技術の飛躍的な進歩により、様々な分野において AI の社会実装が検討されており、医科分野においても皮膚がん検査や認知症検査、また心臓発作の予測での AI の活用についての研究が進められています。また、遺伝子解析や医療画像解析を中心に、AI 技術を疾患の診断や治療などへ応用する試みが進んでいます。

歯科分野の診査においては、従来より歯科医師による歯や歯肉の視診、並びに 2 次元画像データ（口腔内写真、X 線写真等）から得られる情報を組み合わせて診断することが一般的ですが、近年これらデータのデジタル化やこれを利用した技工物の作製が進捗しつつあります。さらに、AI による補綴装置の設計や矯正治療の診断、X 線画像解析によるう蝕や歯周病の診断などの研究が開始され始めており、歯科分野においても最先端 IT 技術の応用可能性について世界的に関心が高まっています。

東京医科歯科大学は、歯科分野で世界でもトップレベルの研究を長年継続し、日本で最多クラスの患者数が来院する歯学部附属病院を有することで、質の高い知的財産と臨床データを蓄積しております。一方、三井物産は幅広い分野における産業との接点を有し、グローバルなネットワークや総合力を活かした、様々な社会課題に対する解決策を提供する新規事業の創出を目指しております。東京医科歯科大学と三井物産は、今回の連携で、歯科分野での AI を活用した診断・治療を支援するシステムの開発およびその社会実装を通じて、医療の高度化、豊かな社会の実現を目指していきます。

<お問い合わせ先>

■東京医科歯科大学

【連携協定に関する事】

国立大学法人 東京医科歯科大学 産学連携研究センター

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL:03-5803-4731 FAX:03-5803-0286

【報道に関する事】

国立大学法人東京医科歯科大学 総務部総務秘書課広報係

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL:03-5803-5833 FAX:03-5803-0272

E-mail:kouhou.adm@tmd.ac.jp

■三井物産株式会社

三井物産株式会社 広報部 報道室

TEL:03-3285-7562 FAX:03-3285-9819